

“入試阻止”大学解体路線を拒否し、徹底した民主的改革をなちとれ！

最高決定機関としての全学協・学部協を樹立せよ！

実行義務規定をテコに、政府・独占と対決する大学を建設せよ！

全学大の学生諸君

政府独占は、現在、東大・三学への直接介入を特に全面的に大学の組織を破壊せんとしている。政府・教育部による直接的統制、独占に忠実な知的エリート養成を策とし、中教審三官各申は、大学院大学一退、副学長設置、学部制による教員審査、は免状、学生自治会解散権等が、その主たる内容である。かかる中において、大学解体と反動的再編成が政府独占と対決する唯一の道である。大学の徹底した民主的改革を推し進めよう！

封鎖員徹し入試阻止し大学解体か、大学の徹底的に民主的改正申すか、本日、全学協は全学協研究所、大学院校舎を封鎖し、封鎖した大学解体路線を更にエスカレートさせた。大学そのものの存続を否定する封鎖徹し入試阻止は大学解体を主張する諸君は、今日の政府独占の直接介入し大学解体し反動的再編成を企てたものがある。彼等は、教授会を解体し、永続的「革命」の勝利及び学園を占領し、封鎖徹しせんことを企てている。今何よりも必要なのは、政府独占と対決し、大学の徹底的に民主的改正をなすことである。大学の入試阻止は大学解体路線が、その主観的意図にもかかわらず、客観的には、自らの墓穴を掘ることになりかねないのには明かである。

大学解体派の決定的誤りは何か？

社会同盟者は、資本主義的生存条件から全ても抽象的に論議して、国家権力と大学とを、学生と教師とを、この二つを組織して、現在の大学の全ても否定する。大学の目的とその本質を何ら論じることなく、大学が権力から相対的自立していることを全く否定している。この事は、現在の大学に於いて資本に敵対する社会主義思想が公然と公戦に教育され、研究されている事実を何ら説明しない。日和見的教育派である統一会議（共労派）、革新諸君も同様である。統一会議（共労派）諸君は、大学を階級としての劣能力を養成する場として位置付け、社会同盟者と自己区別しているかに見えるが、基本的には同じである。その必然的結果として、彼等の言う「改革」のプランとは、カンパによって大学を賄済みするに過ぎない。客観的には、政府独占の志向する大学解体へ突き進むのである。現に彼等は、市大では入試阻止を大々的には言わないが、しかしながら、共労党新聞、京大などでは、中核、社会同盟と共に先頭に立って入試紛争を扇動しているのである。

又、教授会解体し直接参加、つまり、教員と学生の二元的支配による「社会同盟」という幻想は、現実の資本主義体制内では、権力の優位の下に統一され、学生自から権力の統制下に巻き込まれてしまつたのである。学生の意見の優位の下に統一され、主観的に考えているならば、それは又しても、革命後の人民大学しか、カンパによって賄済みする「人民大学」(ウラハ)

人民大学